

PORTS
OF
OSAKA
PREFECTURE

大阪府の



はっこう21

みなと
2011年1月
No.97

TOPICS

- 府営港湾ポートセミナー in 宮崎……………1
- 阪神港堺泉北区における船舶自動給水施設の休止について……………1
- 内航定期航路網の充実・強化……………2
- 平成22年度海外ポートセールス インドネシア共和国東ジャワ州訪問……………4
- テロ対策訓練を実施しました!……………6
- 泉北6区協議会及び汐見埠頭協議会へ津波対策についての説明会開催……………7
- 堺泉北港泉北地区における港湾事業者の皆さんとの協働美化について……………7

EVENT

- 堺泉北港地元港湾振興会合同視察実施……………8
- 堺泉北港地元港湾振興会合同研修会開催……………9
- 第37回堺港まつり開催……………9
- 港湾施設見学会を開催……………10

PORT NEWS

- 大阪府営港湾防災セミナー「東南海・南海地震に備えて」開催……………11
- 貿易実務セミナー開催……………11
- ようこそ大阪府営港湾へ ～初入港のご紹介～……………12
- WELCOME!世界からのお客様……………13

INFORMATION

- 在阪国家機関等に対する要望活動……………13
- 運営委員会……………13

TOPICS

府営港湾ポートセミナー in 宮崎……………1
阪神港堺泉北区における船舶自動給水施設の休止について……………1
内航定期航路網の充実・強化……………2
平成22年度海外ポートセールス インドネシア共和国東ジャワ州訪問……………4
テロ対策訓練を実施しました!……………6
泉北6区協議会及び汐見埠頭協議会へ津波対策についての説明会開催……………7
堺泉北港泉北地区における港湾事業者の皆さんとの協働美化について……………7

EVENT

堺泉北港地元港湾振興会合同視察実施……………8
堺泉北港地元港湾振興会合同研修会開催……………9
第37回堺港まつり開催……………9
港湾施設見学会を開催(高石港湾振興会)……………10
港湾施設見学会を開催(泉大津港湾振興会)……………10

PORT NEWS

大阪府営港湾防災セミナー「東南海・南海地震に備えて」開催……………11
貿易実務セミナー開催……………11
ようこそ大阪府営港湾へ ～初入港のご紹介～……………12
WELCOME!世界からのお客様……………13

INFORMATION

在阪国家機関等に対する要望活動……………13
運営委員会……………13

府営港湾ポートセミナー in 宮崎

大阪府港湾局振興担当部経営振興担当課

大阪府港湾局が取り組む堺泉北港における内航RORO定期航路網強化策の一環として、宮崎県において、ポートセミナーを開催しました。

宮崎県と堺泉北港は、八興運輸株の運航する宮崎／細島／水島航路で結ばれており、同航路を利用して宮崎県の特産品（農産品や焼酎など）や県内立地企業の工業製品などが輸送されています。

今セミナーは、八興運輸株をはじめとする関係各社や宮崎県港湾課との協力により、実現したものです。特に、定期航路の対岸港管理者とセミナーを開催するのは、今回が初の試みとなりました。また、セミナー翌日には、八興運輸株や宮崎県と共同でポートセールスを実施し、県内13社を訪問しました。

大阪府港湾局では、内航RORO定期航路網の充実・強化を図るため、関係各社や対岸港管理者との連携を深め、今回のような取り組みを継続して実施することとしています。

■府営港湾ポートセミナー

と き 平成22年12月16日(木)

ところ 宮崎県水産会館5階 研修室

次 第 1 開会挨拶 大阪府港湾局長 中尾 恵昭

2 府営港湾の紹介 大阪府港湾局 次長 井上 博徳

3 講演①「大王海運株式会社の定期船事業について」

大王海運株 定期船事業部 大阪営業所長 高橋 敏喜 氏

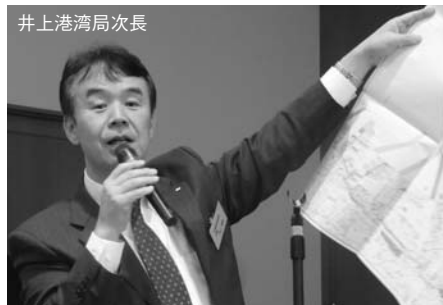
講演②「モーダルシフトへの取組について」

旭化成ケミカルズ(株) 物流部ポリマーグループ長 黒木 親 氏

主 催 大阪府港湾局・大阪府港湾協会・堺泉北港港湾振興連絡協議会・阪南港港湾振興連絡協議会

共 催 宮崎県県土整備部港湾課・宮崎県ポートセールス協議会

協 力 堺泉北埠頭株式会社



阪神港堺泉北区における船舶自動給水施設の休止について

大阪府港湾局振興担当部施設運営担当課

阪神港堺泉北区における船舶自動給水施設について、塩害や老朽化に伴い度重なる故障が生じていることや施設の老朽化に伴い水質の低下が懸念されていることから、平成23年4月1日から休止することにいたしました。

休止する	堺泉北港	大浜埠頭2号岸壁
船舶自動	堺泉北港	小松埠頭3号物揚場
給水施設	堺泉北港	松の浜埠頭2号岸壁



内航定期航路網の充実・強化

大阪府では、阪神港が国際コンテナ戦略港湾に選定されたことを受け、阪神港の集荷機能強化策の一環として、内航RORO定期航路網の充実・強化に取り組んでいます。堺泉北港は内航RORO定期航路、内航フェリー航路の便数、寄港先が共に充実しており、国内の海上輸送を行う上で高い利便性を有しています。

大阪府港湾局では、内航定期航路の利用促進を関係各社と連携して進めているところです。その一環として、大阪府が定める基準に適合する船舶について、6時間以内に係留を終えるときは、岸壁使用料を1/2減額する社会実験を実施中です。(平成22年8月から3年間を期限に実施)

係船時間に応じた料金を設定することにより、既存航路の増便や船舶の大型化、新規航路の開設を促します。

【堺泉北港の利点】

- ① 阪神港で唯一、関東へのデリー便(毎日寄港)が寄港
- ② 定期航路が寄港する岸壁が近接しており、トランシップに便利
- ③ 周辺に多数の民間倉庫・府営上屋があり、貨物の保管・配送に便利
- ④ 大都市圏に近接し、荷下ろし後スムーズな配送が可能

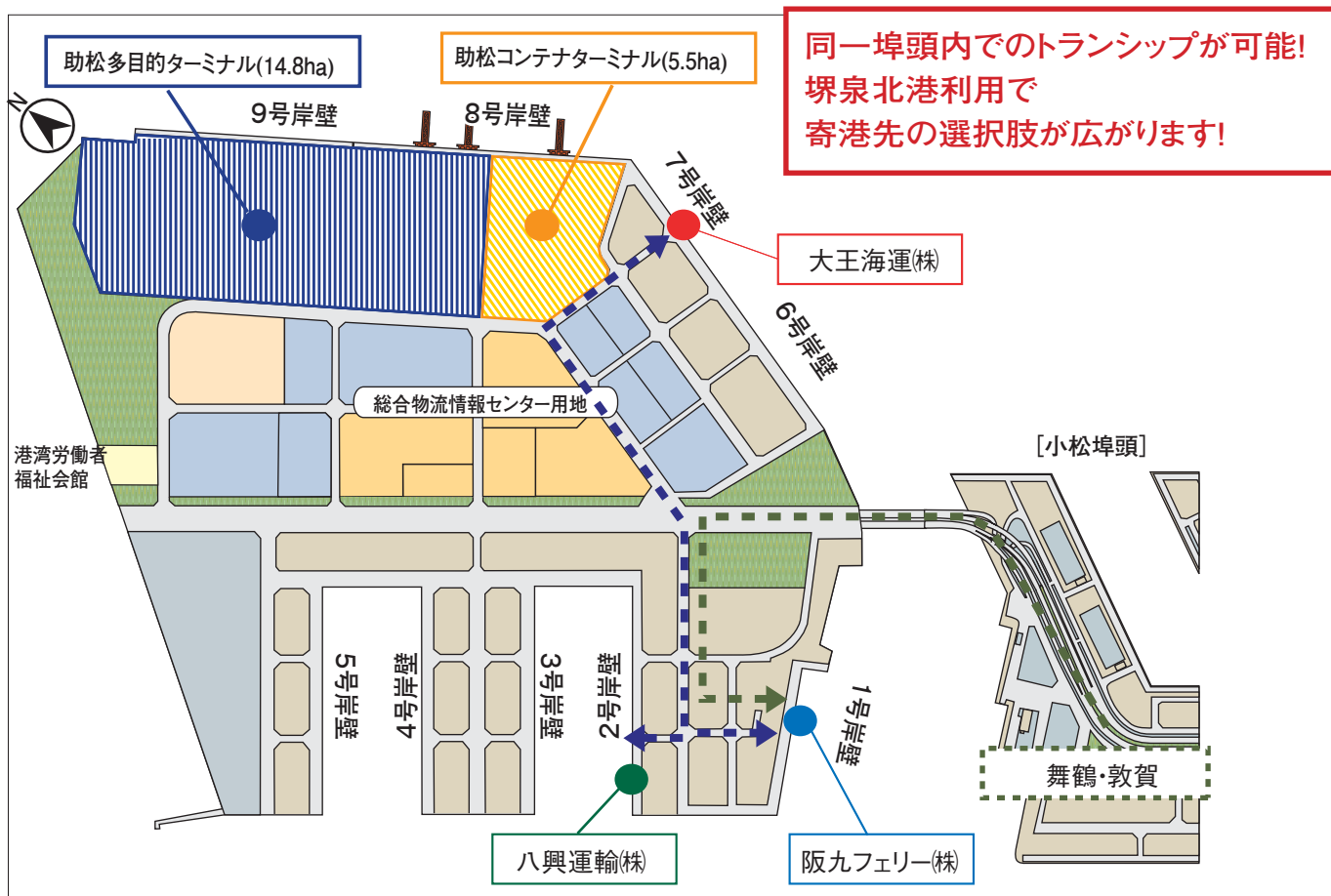
堺泉北港では、北海道・東北方面の貨物を舞鶴港・敦賀港で下ろし、堺泉北港で再びフェリーに積んで西日本各地へ海上輸送する取り組みが行われています。(舞鶴・敦賀～堺泉北間は陸送)

阪九フェリー(株)がSHKライングループの新日本海フェリー(株)と協力して行っているトランシップの取り組みです。具体的には、北海道・東北方面の貨物を舞鶴港・敦賀港まで新日本海フェリーが、陸送を挟んで堺泉北港から北九州港まで阪九フェリーが輸送するという仕組みになっています。

新日本海フェリーの苦小牧便、小樽便(水色点線)がこれに利用されています。



堺泉北港助松埠頭では、複数の航路が同一埠頭内に寄港している利点を活かし、積み替え輸送(トランシップ)の取り組みが進んでいます。
特に、八興運輸(株)が運航する宮崎航路の上り便貨物を大王海運(株)の運航する千葉航路に積み替えて関東地方へ輸送する取り組みが成果を上げており、宮崎県の地元紙「宮崎日日新聞」の紙上で紹介されました。(平成22年3月12日付け)



宮崎／細島航路 「はっこう21」

■八興運輸(株)
宮崎／水島／細島航路 3便／週
お問い合わせ
八興運輸(株)大阪営業所 TEL.0725-90-5385
スケジュール(下表上)



千葉／四国航路 「第二はる丸」

■大王海運(株)
千葉／三島川之江航路 上下各1便／日(日曜日を除く)
お問い合わせ
大王海運(株)大阪営業所 TEL.0725-33-1283
スケジュール(下表中)



北九州航路 「やまと」

■阪九フェリー(株)
新門司航路 1便／日
お問い合わせ
阪九フェリー(株)大阪大津支店 TEL.0725-22-7172
スケジュール(下表下)

	日	月	火	水	木	金	土
宮崎			◆				◆
細島	◆				◆		
堺泉北		◆				◆	
水島(月) 東播磨(金)		◆				◆	

※使用船舶は「はっこう21」→2,187総トン シャーシ42台・乗用車50台搭載可能

	日	月	火	水	木	金	土
千葉		■	●	▲	■	●	▲
堺泉北	▲	■	●	▲	■	●	▲
岡山(田井港)		■	●	▲	■	●	▲
愛媛(三島川之江港)	▲	■	●	▲	■	●	▲

※使用船舶は「第一はる丸」-●、「第二はる丸」-▲、「第三はる丸」-■
「第一はる丸」、「第二はる丸」→7,751総トン シャーシ100台・乗用車250台搭載可能 「第三はる丸」→3,691総トン シャーシ75台・乗用車120台搭載可能

	日	月	火	水	木	金	土	日
堺泉北	●	■	●	■	●	■	●	■
新門司	■	●	■	●	■	●	■	●

※使用船舶は「やまと」「つくし」(同型船)。交互に堺泉北港へ寄港(曜日未確定) 「やまと」「つくし」→ 13,353総トン 乗客667人トラック229台・乗用車138台搭載可能

平成22年度海外ポートセールス インドネシア共和国東ジャワ州訪問

大阪府港湾局では、平成22年11月22日(月)から26日(金)の日程で、インドネシア共和国東ジャワ州でポートセールスを実施しました。

大阪府と東ジャワ州の交流の歴史は古く、大正12年には大阪府の駐在員事務所が同州の州都スラバヤ市に置かれています。昭和59年(1984年)11月26日には、友好府州関係を樹立し、次いで昭和61年(1986年)11月7日には大阪府営港湾堺泉北港と同州に位置するタンジュン・ペラク港が姉妹港提携を結びました。以後、経済・技術協力をはじめ、保健衛生、環境、農業、港湾などの分野で友好交流事業を行っています。

平成22年6月23日(木)には、東ジャワ州のスカルウォ・カルトディハルジョ知事が橋下知事を訪問し、経済を中心に双方の交流を今後一層深めていくことで合意しています。

大阪府港湾局では、大阪府と東ジャワ州が密接な交流の歴史を有していることや、東南アジア諸国の急速な経済成長、中国からの各種製造業の移転傾向に鑑み、新たな貨物の集荷等を目的に成長著しいインドネシア共和国の中でも、特に、工業都市として発展を続けている東ジャワ州を訪問することとなりました。

なお、今回は東ジャワ州が日本企業の投資や現地企業との商談を図るために、日本企業を招いて実施した「East Java Mission」に同行する形をとり、日本企業のインドネシアに対する見方、現地の投資環境や経済状況、インフラの整備状況なども併せて調査しました。ここで得た情報は港湾局に留まらず、大阪府の関係各部署で共有しており、今後の施策に活用することとしています。

また、今回の訪問に当たっては、東ジャワ州日本事務所、在大阪インドネシア共和国総領事館、APP社大阪支店、コーナン商事(株)、通訳として同行していただいた入江氏、大阪府国際交流・観光課など多数の方々にご多大なご協力をいただきました。この場を借りてお礼を申し上げたいと思います。

■港湾局訪問団 団員名簿

団長	大阪府港湾局 局長	中尾 恵昭
	大阪府港湾局 次長	西井 忠好
	大阪府港湾局 主事	上田 真一
	堺泉北埠頭(株) 統括部長	野口 正夫
通訳	コーヨー(株) 顧問	入江 義博



■日程表	
日付	内容
11月22日(月)	出国 関西国際空港～デンパサール国際空港(バリ島) ～ジュアンダ国際空港(スラバヤ市)
11月23日(火)	東ジャワ州セミナー 州知事表敬訪問:スカルウォ・カルトディハルジョ知事 SIER株式会社(ルンクットスラバヤ工業団地運営)訪問 SK foods(日本企業:エスケー食品株式会社)訪問 東ジャワ州商工会議所訪問 大阪府港湾局より堺泉北港のプレゼンテーション
11月24日(水)	タンジュン・ペラク港訪問 港湾施設視察(※雨天のため車中から見学)
11月25日(木)	APP社チウィ・キミア工場(モジョクルト市)訪問
11月26日(金)	帰国 ジュアンダ国際空港(スラバヤ市)～ デンパサール国際空港(バリ島)～関西国際空港

<東ジャワ州訪問記>

11月22日(月)

午前11時に関西国際空港を出発し、バリ島のデンパサール国際空港へ。ここでインドネシアの国内線に乗り換え、スラバヤ市街地近郊のジュアンダ国際空港へ到着。デンパサールから飛び立つ際には、既に日もすっかり暮れていましたが、飛行機の窓から眼下に広がるのは、ネオンが輝くデンパサールの夜景。天の川のような美しい風景に若干の感動を覚えつつも、およそ10時間に及ぶ移動に早くも疲労の色が…。

スラバヤに到着すると、同行者とはぐれて空港内を右往左往。なんとか通訳の入江氏と合流し、連れて行かれた先は空港内に建設された迎賓館。到着早々に東ジャワ州政府から大歓迎を受け、そのまま歓迎夕食会に。ようやくホテルに到着したのは現地時間の22時過ぎ(日本時間の0時過ぎ)でした。

11月23日(火)

スラバヤ市内は朝から曇り。しかしながら、梅雨どき以上の湿気と残暑を思わせる熱気が…。デジタルカメラをかまえたところ、湿気でレンズは曇り、以後動作不良が続く。不吉なものを感じ、不安を覚えずにはられない。

この日は朝から、East JAVA Missionに同行し東ジャワ州政庁でのミーティング、州知事訪問をこなす。ミーティングでは、州知事経済顧問が自らマイクを握って、熱心なプレゼンテーションを行い、現地企業や商工会議所関係者も40名以上参加。日本に対する期待の高さをうかがわせる。州知事訪問の際には、州政府幹部が20名近く同席し、州政府関係者が日本側関係者の倍近くに。スカルウォ・カルトディハルジョ知事は、気さくな人柄で現地では「ひげのおじさん」と親しまれている。州民の直接選挙で選出された初めての州知事で人気は抜群。スラバヤ市内では、随所に知事のポスターや功績を強調する看板が見受けられた。大阪府からは、中尾局長が挨拶し贈り物を贈呈。州知事からは、現地の特産品であるパティックなどが返礼に贈呈された。

州政府訪問後は、昼食を挟んでルンクット・スラバヤ工業団地(SIER)、工業団地内に立地するSK Foods(エスケー食品現地法人)スラバヤ工場、東ジャワ州商工会議所などを訪問。当初予定に無かった訪問先が次々と加わり、誰かが漏らしたか「勘弁してくれ…」の一言が移動する車中で聞こえる。しかし、通訳の入江氏によると、予定がころころ変わる「インドネシア時間」は現地では常識。これくらいで驚いてはいけないとのこと。

この後、夕食会を兼ねたミーティングが行われ、日程が全て終了したときには既に22時に。参加者一同、インドネシアの現実を目の当たりにした一日だった。



州知事表敬訪問

11月24日(水)

この日は、East JAVA Mission訪問団とは別行動。姉妹港のタンジュン・ペラク港の視察に向かう。インドネシアは日本と違い、全国を4つの地区に分割し、それぞれを第1から第4までの港湾公社が地区内の港を管理する。現在は株式会社化され、タンジュン・ペラク港を管理するのは第3港湾株式会社タンジュン・ペラク港支局となっている。

支局庁舎を訪問し、1時間ほど港の紹介が行われ、その後いよいよ港湾の視察へ。しかし、前日に引き続いて不吉な兆候が…。支局のオフィスを出た途端に雨が降り出し、視察は急遽車中から行うことに。港頭地区周辺は、既に大渋滞が発生しており、警察車両がサイレンを鳴らして先導する。トラックのドライバーや港湾の作業員たちが、何かとこちらを振り向く中、視察を行う。入江氏によると、「ノットカーが先導でもしない限り、まともな視察は出来ない。自分も以前渋滞に捕まり、2キロメートル進むのに4時間かかったことがある」とのこと。確かに、日本のように車線に車が詰まっているならまだマシで、こちらの渋滞は車線もなにも関係なく、道路にひたすら車が詰まっている状況。明らかに警察官でもない男たちが、勝手に交通整理をしてドライバーからわずかばかりの「整理料」をいただいている光景があちこちで見られた。



タンジュン・ペラク港訪問

昼食を挟んで午後からは、タンジュン・ペラク港の対岸マドゥラ島に建設中の新港の視察。しかし、島に通じる橋が、大渋滞で一步も進むことが出来ない。聞けば、牛の頸を落として神の供物にするという現地の伝統的なお祭りが前日に行われ、スラバヤ市内に住む島の出身者が、一斉に帰省しようとしているという。仕方なく、本日の視察はこれにて終了となりました。

11月25日(木)

最終日は、East JAVA Missionに参加していた企業の一部とアジア最大の製紙会社APP(アジア・ペーパー・アンド・パルプ)を訪問。同社中最大の規模を誇るチウィ・キミア工場(モジョクト市)を視察した。

同工場は、敷地面積200ヘクタールを誇り、従業員はおよそ14,000名を数えるインドネシア国内でも有数の規模を誇る工場。視察に当たっては、APP社大阪支店から担当の平尾氏が、わざわざ現地まで来て案内をいただいた。

訪問後は、一路ジュアンダ国際空港へ。デンパサール国際空港を経て、深夜便で帰国の途に着く。



APP社訪問

11月26日(金)

午前8時30分に関西国際空港に到着。日本の寒さに身震いする。風邪を引かないようにとこの日は早めに帰宅したもの、やはり風邪をひいてせつかくの休日は台無しに。

テロ対策訓練を実施しました!

大阪府港湾局総務企画課危機管理グループ

国際船舶・港湾保安法に基づき、平成22年10月14日(木)阪南港岸和田15号物揚場及び前面海域において、また、10月28日(木)堺泉北港大浜埠頭5号岸壁及び前面海域において、テロ対策訓練(埠頭・水域総合訓練)を実施しました。

これはテロ防止等港湾の保安強化に伴い、保安委員会(主催者)の関係機関の連携・対応能力の更なる強化を目的としたもので、各々の参加機関は海上保安署、警察署、税関のほか入国管理局、近畿地方整備局など総勢100名に及びました。

保安委員会委員長である中尾港湾局長の挨拶の後、「テロ容疑者を乗せた貨物船A号から、容疑者1名が移乗したプレジャーボートを挟撃するとともに、その後、着岸した貨物船A号からもテロリストは上陸し逃走する」という想定のもと、海上及び陸上にて訓練を行いました。

参加者は皆真剣で緊張感が漂う中、不審船の追跡・捕捉、船内搜索、手荷物検査、容疑者確保まで行い、訓練は無事終了しました。

今後も定期的に訓練を行い、実際のテロ等発生時において、迅速且つ的確に連携・対応出来るような体制の確保に努めていきます。



保安委員会委員長 中尾港湾局長 挨拶



海保巡視艇及び水上警察警備艇による追跡訓練



容疑者逃走!



容疑者制圧・検挙!



手荷物検査訓練



港湾危機管理副担当官による講評

泉北6区協議会及び汐見埠頭協議会へ津波対策についての説明会開催

大阪府港湾局総務企画課危機管理グループ

東南海・南海地震は、今後30年以内の発生確率が60%程度とされています。その地震の発生と同時に津波が発生し大阪湾にも到達します。地震発生後、岬町で60分、泉大津市で100分で到達すると想定されており、この津波が船舶を危険にさらす可能性があります。危険を回避するためにはどうすべきかについて船舶津波対策マニュアル(案)としてまとめ、その内容について説明を行いました。

現在、津波発生時の船舶対応は、大阪港海難防止対策委員会の大阪府・市津波対策分科会でその対策が示されています。内容は、阪神港(大阪区・堺泉北区)及び阪南港の在港船舶が迅速かつ確に対応できるようになっており、津波注意報が発令されますと、全船に対して津波情報の収集、連絡体制の確保、係留強化等津波対策に留意することとなっています。さらに津波警報が発令されますと、小型船は陸揚げ固縛又は係留強化又は港外退避等必要な措置を、小型船以外では、荷役中の船舶は荷役を中止、係留強化又は港外退避等必要な措置を講ずることとしています。この暫定版の本版として同マニュアルを作成しました。本編と資料編の2部構成となっており、本編では、緊急連絡体制、船舶の取るべき措置、避難経路及び安全海域の情報、船舶関係者(船舶代理店、荷役関係者、ポートラジオ、パイロット、タグ、綱取りの手配担当者等)の取るべき措置等についてまとめています。資料編では、東南海・南海地震による津波の大阪湾への到達時間、流速、高さ及び船舶が危険を回避するための判断材料となるよう簡易的評価手法の提案等についてまとめています。

今後、船舶関係者の方々と調整後、大阪府・市津波対策分科会に諮問する予定です。これからも、官民一体となり被害抑止に向けた取り組みを皆様のご協力の下、推進していきたいと考えております。

●汐見埠頭協議会での説明

【日 時】平成22年11月16日(火)午後3時～

【場 所】泉大津花き地方卸売市場 会議室

【参加者】9社

●泉北6区協議会での説明

【日 時】平成22年11月30日(火)午後3時30分～

【場 所】汐見港湾労働者福祉センター 会議室

【参加者】6社



堺泉北港泉北地区における港湾事業者の皆さんとの協働美化について

大阪府港湾局振興担当部施設運営担当課

大阪府港湾局では、港湾地域の環境悪化が著しい状況にある堺泉北港泉北(泉大津)地区の4埠頭の環境改善のための取組みのひとつとして、行政と港湾事業者の皆さんとの協働による定期的な美化活動を、各埠頭の港湾事業者でつくる協議会(泉北4区懇話会、泉北港港運協議会、泉北6区協議会、汐見埠頭協議会)及び泉大津市港湾振興室と協力して実施していますが、平成22年度においても継続して実施することとしています。

平成22年度第4四半期の予定は下記のとおりですので、協議会への加入、未加入を問わず協力いただける事業者は是非ともご参加いただきますようお願いします。

また、環境悪化の一因として、港湾を一時的にしか利用しない港湾関係車両運転手によるポイ捨てゴミもあるかと思われますことから、各事業者におかれましては、関係車両運転手へのポイ捨て防止の周知・啓発についてもご協力をお願いします。

実施月	地区(埠頭)	日時	集合場所
1月	泉北5区(小松)	1月25日(火)12:30～14:30(雨天中止)	阪神高速道路株式会社・泉大津交通管理基地前
	泉北6区(助松)	1月26日(水)14:00～16:00(雨天中止)	助松埠頭港湾労働者福祉会館駐車場
2月	泉北7区(汐見)	2月19日(土) 9:00～11:00(雨天中止)	汐見港湾労働者福祉センター駐車場
	泉北4区(松の浜)	2月22日(火)15:00～17:00(雨天翌日順延)	集合しません。各事業者の隣接する道路の清掃をお願いします。
3月	泉北5区(小松)	3月22日(火)12:30～14:30(雨天中止)	阪神高速道路株式会社・泉大津交通管理基地前
	泉北6区(助松)	3月23日(水)14:00～16:00(雨天中止)	助松埠頭港湾労働者福祉会館駐車場



ポイ捨て防止啓発用ステッカー

EVENT...

イ

ベ

ン

ト

堺泉北港地元港湾振興会合同視察実施

泉大津港湾振興会

堺泉北港地元港湾振興会(泉大津・堺・高石)では、毎年輪番により各港湾振興会が主催し、先進都市の港湾や企業を視察し、堺泉北港のより一層の発展を図る目的で合同視察を行っています。

今年度は、10月17日(日)から19日(火)にかけて、初めての海外視察となる韓国光陽市の市庁舎訪問並びに光陽市港湾施設、泉大津市にも事業所を持つPOSCO光陽製鉄所の視察、釜山港湾施設見学を行いました。

光陽市は、韓半島南端の海岸中心部に位置する美しい港湾都市で、人口約15万人、面積454km²で、産業として鉄鋼、港湾物流、農業・観光、造船の4大戦略産業を掲げております。2012年の麗水国際博覧会の開催に備え、道路や橋梁などのインフラ整備を進めています。また現在、泉大津市とは小中学生の絵画交流や、泉大津フェスタの参加など友好都市提携を目指した文化交流をしています。

光陽港は、コンテナ専用ふ頭5万トン級12バース、2万トン級4バースの総16バースを運営しており、年間の処理能力は548万TEUにおよび、2020年までに総34バースを開発し(年間処理能力1,245万TEU)、世界10位圏進入を目指しております。

また、光陽市発展の立役者として役割を果たしてきたPOSCO光陽製鉄所は(1,740万トン)現在、世界最高水準の自動車専用鋼板(650万トン規模)開発に成功し、世界の有名ブランド自動車会社に輸出しています。2008年には、300万トン級厚板工場を着工させ、光陽市に造船産業クラスターを形成しました。

釜山港は韓国第一の港湾で、世界第5位(2008年)のコンテナ港湾で、山と島々に囲まれ港内水面は穏やかで潮の干満の差が少なく、世界3大幹線航路に接している天恵の港湾条件を備えています。現在、釜山港は169隻の船舶が同時に接岸できる26.8kmの岸壁施設と年間9,100万トンを処理できる荷役能力を備えている。一方、増加するコンテナ物動量に対応して、30隻の船舶が同時に接岸可能で、年間804万TEUのコンテナを処理できる釜山新港開発を2015年に完工するため推進中であります。

初めての海外視察とあって、2泊3日というハードなスケジュールでありましたが、参加されました会員様など(総58名)のご協力により、充実した視察になったと思っております。これも光陽市長様をはじめ熱烈歓迎をしていただきました光陽市の職員の皆さま、またPOSCO光陽製鉄所の職員の皆さまには、改めまして感謝申し上げます。



堺泉北港地元港湾振興会合同研修会開催

高石港湾振興会

堺泉北港地元港湾振興会(高石・堺・泉大津)では、堺泉北港の地元港湾振興会の連携を密にして、会員相互の連帯を深め、広域的に一体となった港湾振興事業を展開することにより、堺泉北港のより一層の発展を図る目的で、平成10年度から毎年合同研修会を開催しています。

今年度は、11月26日(金)に高石市のベイサイドパーク迎賓館において、国・大阪府の関係機関等のご来賓を始め、各振興会の会員約90名の参加により開催致しました。

研修会では、昨年度の大阪府営港湾ポートセミナー(東京)でもご講演いただきましたご縁から、非常にお忙しいスケジュールを調整していただきお招きすることができました、株式会社海事プレス社 理事 関西支局長 寺西伸二氏に「戦略港湾・阪神港の今後について～次世代産業の集積などを背景に～」と題しまして、大阪湾ベイエリアを中心に集積する次世代産業や、その集積に伴う物流動向、また、戦略港湾・阪神港の今後について講演いただきました。

参加者は、特に物流の動向や関西の経済情勢に詳しい講師の話に聞き入っていました。



第37回堺港まつり開催

堺港湾振興会

平成22年11月7日(日)第37回「堺港(みなと)まつり」を堺市堺区出島漁港「とれとれ市」に於いて開催いたしました。

当日は、まさに秋晴れの中、延べ2,100名とたくさんの方々にお越しいただきました。

小学生以下を対象とした大声大会では、堺海上保安署のご協力により優勝者を1日船長として、参加者とともに巡視艇「しぎかぜ」に乗船し、体験航海を楽しんでいただきました。

また、来場者の皆様にも、丸高渡船のご協力により体験航海を実施し、沖では、堺海上保安署の消防船「かいりゅう」の放水展示や普段あまり見る事のない堺泉北港の景色を堪能していただきました。

他にも、消防車の展示・記念撮影やパルンショー、また今年2回目の出演となる和太鼓演舞などのステージショーで、まつりを盛り上げていただき、似顔絵コーナーやフルーツ販売コーナー等でも行列が出来、堺港(みなと)まつりを盛大に終えることが出来ました。

ご支援、ご協力をいただきました堺市漁業協同組合連合会をはじめ、堺海上保安署や当日出演いただきました皆様、そして、当日早朝よりお手伝いいただきました、堺港湾振興会会員企業の皆様にお借りして厚くお礼申し上げます。



港湾施設見学会を開催

高石港湾振興会

高石市内の4小学校の4年生・5年生を対象に、総合学習の一環として、海や港に関心を持ってもらうことを目的に高石港湾振興会が大阪府港湾局と大阪水上警察署の協力を得て港湾施設の見学会を開催しました。

この見学会は、大阪府港湾局旅客船「はまでら」に乗船して、海から港湾施設を見学するもので、見学当日は、大阪府港湾局担当者から分かりやすい説明をしていただき、児童たちは興味津々で聞き入っていました。

また、船上から阪九フェリー、大阪ガスLNGタンク、ガントリークレーン等、日頃見ることができない様々な港湾施設を見学し、大満足といった感じでした。

【開催日】

9月24日(金)	羽衣小学校4年生	87名	9月30日(木)	東羽衣小学校4年生	105名
10月1日(金)	清高小学校5年生	76名	10月5日(火)	取石小学校4年生	103名
10月7日(木)	高陽小学校4年生	98名	10月8日(金)	加茂小学校5年生	90名



港湾施設見学会を開催

泉大津港湾振興会

泉大津市内の小学校5年生を対象として、海や港に関心を持ってもらうことを目的に大阪府港湾局をはじめ、大阪湾広域臨海環境整備センター、日本野鳥の会、大阪水上警察署、泉大津市の協力を得て開催しました。

この見学会は、「大阪府のみなとと海岸の勉強会」、「ごみ処理についての勉強会」と大阪府港湾局所有の旅客船に乗り「海からの港湾施設見学」、「大津川河口部で干潟に集まる野鳥の観察」を行いました。今年度は、6校の申込みがありました。うち2校が荒天等の影響により、学校での出前講座のみとなりました。

港湾施設見学会は、まず勉強会を行い、大阪府港湾局と大阪湾広域臨海環境整備センターの職員から、スクリーンを使いながら分かりやすい説明を受け、子供たちは真剣に聞き入っていました。

次に船に乗って海からの港湾施設見学は、日頃見ることのできない風景で、子供たちはめずらしそうに景色を眺めていました。また、野鳥観察では、日本野鳥の会の方々の指導により遠くに見える鳥を望遠鏡で興味深く見つめていました。

最後に、関係機関の皆さまにご協力をいただき、無事終わることができました。ありがとうございました。

【開催日】

10月4日(月)	穴師小学校	130名	10月6日(水)	楠小学校	111名
10月22日(金)	上條小学校	121名(出前講座)	11月1日(月)	浜小学校	136名(出前講座)
11月29日(月)	条東小学校	75名	11月30日(火)	旭小学校	138名



大阪府営港湾防災セミナー「東南海・南海地震に備えて」開催

堺泉北港港湾振興連絡協議会・阪南港港湾振興連絡協議会

堺泉北港港湾振興連絡協議会並びに阪南港港湾振興連絡協議会では、今後50年以内に90%以上の高い確率で発生するとされている東南海・南海地震について、港湾関係事業者への情報提供及び啓発を行い、防災意識を喚起するため、府営港湾防災セミナーを開催しました。

防災月間中の9月30日(木)に泉大津市・テクスピア大阪にて開催したセミナーでは、関西大学社会安全研究科長で阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」センター長の河田 恵昭氏をお招きし、「東南海・南海地震に備えて」と題し、東南海・南海地震が発生した際の被害想定、また、発生に備えて実施すべき企業及び行政の対応等について、事例と映像を交えて分かりやすく講演いただきました。

引き続き、大阪府政策企画部危機管理室保安対策課 森川 家吉氏、大阪府港湾局総務企画課危機管理グループの原田 雄造氏よりそれぞれ、大阪府が取り組む災害対策についてご説明いただきました。

当日は企業、行政関係の方など101名の方にご参加いただき、「地震の発生率がかなり高いということを改めて認識した。企業の弱みを把握することの重要性を強く感じた」や「企業の防災計画の参考になった」、「津波対策等に必要な欠かすことの出来ない水門等ハード対策や被害をゼロにするための取組みが理解できた」などの感想をお寄せいただき、将来不可避とされる巨大災害について、理解と危機意識を深めていただく機会となりました。



貿易実務セミナー開催

堺泉北港港湾振興連絡協議会・阪南港港湾振興連絡協議会

堺泉北港港湾振興連絡協議会と阪南港港湾振興連絡協議会は、港湾関連企業及び団体等の貿易担当者や新入社員を対象に貿易実務能力の向上に役立てていただくため、下記のとおり貿易実務セミナーを開催いたしました。例年好評をいただいているこのセミナーですが、今年度は新たに英文契約実務に関する講義も実施されました。長時間の講義にもかかわらず、皆様熱心に受講され、休憩時間や講義終了後には、たくさんの方が講師に質問をされていました。受講終了後のアンケートでは、大変勉強になったとのご意見を数多くいただき、皆様の貿易実務能力の向上に役立てていただけたものと考えております。



■会場	堺泉北港ポートサービスセンタービル 2階 201・202会議室
■開催時間	13:00~17:00
■講師	中矢 一虎 氏 国際法務(株)代表 大阪市立大学商学部講師

平成22年10月14日(木)	基礎知識編	参加者:35名
平成22年10月21日(木)	輸出・輸入編	参加者:33名
平成22年10月27日(水)	応用実践編	参加者:24名
平成22年10月28日(木)	英文契約書入門編	参加者:28名

ようこそ大阪府営港湾へ ～初入港のご紹介～

大阪府港湾局振興担当部経営振興担当課

大阪府港湾局では、府営港湾の公共埠頭に初めて入港する船舶に対し、大阪府港湾協会や地元市港湾振興会と協力して初入港の歓迎セレモニーや初入港記念楯の贈呈を行っています。

FRIESEDIJK

9,983トン（総トン数）
平成22年9月10日（金）
堺泉北港助松埠頭
第8号岸壁Aバース
コンテナ船



DELIA

9,983トン（総トン数）
平成22年10月14日（木）
堺泉北港助松埠頭
第8号岸壁Aバース
コンテナ船



ひえい 5,050トン（基準排水量）

平成22年10月15日（金）
堺泉北港大浜埠頭第5号岸壁Aバース
海上自衛隊護衛艦



宮本参事

染田艦長

ひえいは、堺市で10月16日に実施する「堺まつり」に合わせ、15日入港しました。

当船は、昭和49年に竣工、護衛艦としてインド洋に派遣されたほか、映画撮影にも使用されたそうです。

15日には、大阪府港湾局から初入港楯が、ひえいから返礼に乗艦記念楯が贈呈されました。

また、16日・17日は艦内の一般公開が行われ、自衛隊大阪地方協力本部によると延べ約7千人が見学したそうです。

ヘリコプターが3台収納される大きな格納庫から、狭い階段を渡り甲板に出ると、ヘリコプターや普段は目にすることのない大砲、ミサイル発射台などが装置されていました。多くの方が記念写真をとるなど大いに賑わっていました。



HOEGH XIAMEN

47,232トン（総トン数）
平成22年10月27日（水）
堺泉北港助松埠頭第9号岸壁
自動車専用船

LE MANS EXPRESS

20,451トン（総トン数）
平成22年11月25日（木）
堺泉北港助松埠頭
第8号岸壁Bバース
自動車専用船



LIGULAO

10,469トン（総トン数）
平成22年11月29日（月）
堺泉北港助松埠頭
第8号岸壁Bバース
自動車専用船



SPRING WIND

25,745トン（総トン数）
平成22年12月12日（日）
堺泉北港助松埠頭第8号岸壁Bバース
自動車専用船

WELCOME!世界からのお客様

大阪府港湾局振興担当部経営振興担当課

●平成22年12月10日(金)大阪府港湾局表敬訪問

在大阪インドネシア共和国総領事館

領事・公使参事官 イー・グスティ・ングラ・アルディアサ

経済部秘書官 スラメット・ウィナルディ

平成22年11月22日(月)から26日(金)にかけて、大阪府港湾局がインドネシア共和国東ジャワ州を訪問したことを受け、大阪府と東ジャワ州の経済交流等について意見交換を行いました。



INFORMATION

●在阪国家機関等に対する要望活動

府営港湾の整備促進のために、関係国家機関等に対し要望活動を行いました。

実施日：平成22年12月14日(火)、21日(火)、24日(金)

要望先と要望事項については下表のとおり

要望先	要望事項
近畿運輸局長	長距離フェリー航路への支援
第五管区海上保安本部長	堺泉北港への最新鋭の消防船等の配備 体験航海行事のための巡視船派遣の継続
大阪海上保安監部長	堺泉北港への最新鋭の消防船等の配備 体験航海行事のための巡視船派遣の継続
大阪海上保安監部 堺海上保安署長	堺泉北港への最新鋭の消防船等の配備
近畿地方整備局長	大和川へのゴミの不法投棄取締り強化及び河川敷のゴミの除去清掃
近畿地方整備局 大和川河川事務所長	大和川へのゴミの不法投棄取締り強化及び河川敷のゴミの除去清掃
大阪府知事	府営港湾の整備、維持管理等に関する事項

●運営委員会

<平成22年度 第2回>

日時：平成22年11月5日(金) 午前10時～

場所：堺泉北港ポートサービスセンタービル 2階 201・202号室

議事：(1)平成22年度在阪国家機関等に対する要望について

(2)その他